

報道関係各位

2008年11月吉日
慶應義塾大学 SFC 研究所慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス SFC
産官学連携イベント
SFC Open Research Forum 2008
『clash of extremes』

慶應義塾大学 SFC 研究所(所在:慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス/所長:國領二郎)は、11月21日、22日の2日間、六本木アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー 40階、49階)にて、SFC Open Research Forum 2008を開催いたします。

Open Research Forum(以下 ORF)とは、SFC 研究所で実施している研究プロジェクトの現状と将来計画を広く社会に紹介するイベントです。産官学の連携に注目が集まる昨今、協力・参加企業は年々増加し、研究成果の発表だけではなく、新たなプロジェクトの創出の場としても注目を集めています。SFC の設立以来、開催 13 回目となる今年は「clash of eXtremes」をテーマとし、「極端なるもの(eXtremes)」が出会ったり、ぶつかったり(clash)しながら、新たなものの創出の可能性を探るということをコンセプトに、セッションやデモンストレーション、展示を行います。

SFC Open Research Forum 2008 『clash of eXtremes』 開催概要

会 期:2008年11月21日(金)、22日(土) 10:00~19:00

会 場:六本木アカデミーヒルズ(六本木ヒルズ森タワー40階、49階)

入 場 料:無料

公式ウェブサイト:<http://orf.sfc.keio.ac.jp/>

実行委員長:中村 修(慶應義塾大学環境情報学部教授)

主 催:慶應義塾大学 SFC 研究所

併 催:慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所、
慶應義塾大学大学院メディア・デザイン研究所、
慶應義塾大学湘南藤沢学会、SFC フォーラム

特別協力:アカデミーヒルズ

主なプログラム:メインセッション5企画、セッション、研究成果の展示・デモンストレーション、
スツケース・デモなど約150のプログラムを予定SFC Open Research Forum 2008
『clash of eXtremes』キービジュアル

本件に関する問い合わせ先

慶應義塾大学 SFC 研究所 ORF 事務局 担当:後藤百紀

TEL:0466-49-3436 Mail:orf-aria@sfc.keio.ac.jp

メインビジュアル、昨年度の会場風景の画像データについては事務局までお問合せ下さい。

《会期中の主なプログラム》

メインセッション（詳細は次ページご参照）

国家の安全から食の安全までSFCならではの横断的で融合的な研究領域のテーマを設定し、産業界・官公庁・自治体・大学における第一人者が参加するトークセッションを開催します。ORFは登壇者のみならず、来場者が産業界の有名人であることでも知られており、各メインセッション終了後は、展示会場内に設けられたオープンセッション会場で、登壇者と来場者が気軽に意見を交わせる交流の場「アフタートーク」を提供します。

スーツケース・デモ

スーツケース・デモは、研究成果を詰め込んだスーツケースを使って、研究者が自由に移動しながらデモンストレーションや研究発表を行う、既存の固定ブース型発表とは全く異なる新しい研究発表のかたちです。このスーツケース・デモによって、研究者同士や来場者が今まで以上に自由に交流することが可能となります。

< 展示の見どころ >

坂井直樹研究会 / 坂井直樹：エコロジーコンシャスなライフスタイルのためのケータイ

今では誰もが当たり前持っている機能満載の携帯電話ですが、「エコ」という観点から見れば、まだまだ出来ることは残されていると坂井研では考えています。エコな生活を実現するための携帯電話とは、どういったものになるのでしょうか？まずは使い方（ユーザーインターフェイス）の面から出来ることを提案いたします。

環境バイオプロジェクト / 富田 勝：緑藻を使ってCO2からバイオ燃料を作る

京都議定書が2005年に発行されたのを受け、石油の代替燃料としてバイオ燃料が高い注目を集めています。一方、大豆などを原料とする現在のバイオ燃料は、供給能力が大幅に不足しています。我々は、CO2を吸収して細胞内にオイルを合成する緑藻の研究を通して、持続的社会的の実現に貢献します。

Human Performance Laboratory / 福田 亮子：「いい」って何だろっ

私たちにとって「いい」モノや「いい」環境とはどのようなものなのでしょうか？これを解き明かす鍵は人間のパフォーマンスにあります。人間がどのような情報を受け取り、何を考え、どのように感じ、どうふるまうのかを明らかにすることにより、人間が「いい」と思う条件を解明することができます。会場では人間のパフォーマンスを測るデモンストレーションを行います。皆さんも一緒に「いい」とはどういうことか考えてみませんか？

| | |
|---|--|
| 11月21日(金) 40階 キャラントB | |
| <p>メインセッション1 10:00~11:30 (12:00)</p> <p>「世界の新しいパワーバランスと 日本の安全保障」</p> | <p>林 芳正(前防衛大臣)</p> <p>前原 誠司(民主党 副代表)</p> <p>神谷 万丈(防衛大学校 教授、東京財団 安全保障研究G)</p> <p>谷内 正太郎(前外務次官、総合政策学部 特別招聘教授)</p> <p>加藤 秀樹(東京財団 会長)</p> <p>阿川 尚之(総合政策学部長)</p> <p>司会:神保 謙(総合政策学部 准教授)</p> |
| <p>メインセッション2 12:30~14:00 (14:30)</p> <p>「危機的状況にある日本農業 ~IT技術が貢献できる食料戦略~」</p> | <p>山田 俊男(参議院議員、元全国農業協同組合中央会 専務理事)</p> <p>宮台 真司(首都大学東京 教授)</p> <p>野田 克己(株式会社 大地を守る会 取締役総合政策本部長)</p> <p>司会:神成 淳司(環境情報学部 専任講師)</p> |
| <p>【第二回 G-SEC 年次コンファレンス】</p> <p>「日本のカントリー・アイデンティティを考える - Japan as a Global Player - 」</p> <p>セッション:「グローバル時代の財政金融政策」</p> | <p>岩田 一政(内閣府経済社会総合研究所長/前日銀副総裁)</p> <p>増田 寛也(前総務大臣)</p> <p>北城 恪太郎(日本アイ・ピー・エム株式会社最高顧問)</p> <p>竹中 平蔵(慶應義塾大学グローバルセキュリティ研究所長) ほか</p> |
| 11月22日(土) 40階 キャラントB | |
| <p>メインセッション3 10:00~11:30(12:00)</p> <p>「ICTと地域活性化の未来と語る 次世代に“使われる”インターネットの設計 ~地域との融合と3つの開発キーワード」</p> | <p>海老根 靖典(藤沢市長) 遠隔中継で参加</p> <p>村井 純(慶應義塾 常任理事、環境情報学部教授)</p> <p>國領 二郎(SFC 研究所長)</p> <p>中村 修(環境情報学部 教授)</p> <p>三次 仁(環境情報学部 教授)</p> |
| <p>メインセッション4 12:30~14:00(14:30)</p> <p>「イノベーションは止められない」</p> | <p>三木谷 浩史(楽天株式会社 代表取締役会長兼社長)</p> <p>夏野 剛(大学院政策・メディア研究科 特別招聘教授)</p> <p>司会:國領 二郎(SFC 研究所長)</p> |
| <p>メインセッション5 15:30~17:00(17:30)</p> <p>【SFC フォーラムセッション】</p> <p>「SFCの創造的破壊 - 未来創造塾はどこまでやれるのか?」</p> | <p>阿川 尚之(総合政策学部長)</p> <p>徳田 英幸(環境情報学部長)</p> <p>山下 香枝子(看護医療学部長)</p> <p>金子 郁容(大学院政策・メディア研究科委員長)</p> <p>村井 純(慶應義塾 常任理事、環境情報学部教授)</p> <p>上山 信一(総合政策学部教授)</p> <p>司会:國領 二郎(SFC 研究所長)</p> |